

研究だより

入新井第五小学校
研究推進委員会
R6年5月20日(月)
第1号

社会に適応プロジェクト

3年 社会科 「大田区の様子」

◎授業について

5月17日(金)第1回となる校内での研究授業を行いました。単元は、「大田区の様子」です。「大田区の地形の様子を調べ、大田区の地形は、西は高く、東は低いこと、川や池があり、海と面していることを理解する。」ことをねらいとして授業を行いました。

【導入】こどもが大田区の地形の様子を主体的に調べようとする意欲を引き出すため、こどもにとって身近である「校歌」を導入の教材に使用しました。歌詞の中に出てくるキーワードを空欄にし、どんな言葉が入るかを予想させました。こども達は地図を見て、『多摩川が近いから多摩川っという言葉はいるのでは?』や『近くに坂があるから坂が入るんじゃない?』など積極的に地図を見て発言する姿が見られました。

【展開】始めはGoogleMapで調べ、だんだんと意見が少なくなってきたところに、第一の手がかりとして色の違いで海や川、土地の高さが分かるように地形図を配りました。第二の手がかりとして、同じ歌詞が入っている学校を複数挙し、地形に関して共通する事柄を探るように示唆しました。

次の課題として大田区全体の地形の様子を調べました。個人で考えてから班になり、みんなで地形図を囲んで話し合いました。前に貼ってある方位を見ながら「南の方角に多摩川が流れている」や「北西の方が土地が高い」など様々な意見が出ました。

【まとめる】実際の高低差や湖の広さを実感させるために、池上本門寺の階段や田園調布の坂、洗足池などの写真を見せました。実際の様子を提示することで、児童が具体的な様子を理解した上で本時に関する自分の意見をまとめることができました。

☆指導・講評



研究を進めるにあたって・・・学校としてのキーワードは、全員がしっかりと共通理解する必要がある。

学校としてのキーワードは、全員がしっかりと共通理解し、「適用力ってなに?」と問われたときに校内の全員が同じように答えることができるようにすることが大切である。

授業について・・・社会科は、問題解決的な学習過程の充実が大切である。学習問題を立てる前に様々なことを考えさせ、予想させた上で学習問題を立てると、こどもたちがより主体的に考えるようになる。

▲今回は情報が多かった。校歌の活用方法については検討が必要である。最後のまとめる部分では、地図を見ながらまとめていくものなのでしまわせない方がよい。教科書や資料集を取捨選択したうえで提示・活用し、授業のまとめでは、こどもに自分の言葉で書かせるようにする。黒板で先生が書いたまとめを移させても評価に繋がらない。

○馬場先生はよく見通しをもって考えられている。こどもたちにも見通しを持たせるために簡単な図を教室に掲示するのも有効的である。

